

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	救助訓練中、右足首を捻り負傷。
3. 体験した事例の中心的要素	・訓練開始から約 1 ヶ月経過しており、身体的・精神的にも疲れが蓄積していた。
4. 体験した事例の原因・理由	・訓練隊員間で経験・技量の差があり、追いつこうとしてあせりを感じ力みがあったため。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

.....

1. 発生日時	平成 19 年 5 月 29 日 午後 3 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：訓練場高塀前
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：捻り
7. 事例体験時の活動	演習訓練 [救助（大会に向けた訓練）]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：高塀訓練の補助者（土台）
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1，2回程度体験している。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[27]歳、 勤続年数[3]年、 現場経験年数[2] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
○当事者 B	年齢[32]歳、 勤続年数[14]年、 現場経験年数[5]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A(負傷者) 当事者 B	ウォーミングアップ	
経過 2	当事者 A(負傷者) 当事者 B	ロープ展張訓練	
経過 3	当事者 A(負傷者) 当事者 B	ロープ収納訓練	
経過 4	当事者 A(負傷者) 当事者 B	高塀訓練	
経過 5	当事者 A(負傷者) 当事者 B	休憩	
経過 6	当事者 A(負傷者) 当事者 B	障害突破訓練開始（スタート後の高塀突破の補助者となる姿勢をとった時に負傷）	
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた。危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。足元の安全が確保できていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	はい

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ

・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ
---------------------	-----

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

- ・ 周りを注意深く確認することを徹底する。
- ・ 日々の訓練を疲れがとれるように休息・休憩を充分にとる。

○装備・資機材の対策について

- ・ 見やすい安全マットの設置。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

